AWSドキュメント自動化のススメ

~ それなりにいい感じのドキュメント ~

高江洲 祐治(たかえす ゆうじ)

たかえす ゆうじ

- サーバーワークス大阪 技術4課
- 趣味は、お酒とマラソン
- 好きな言語

    Ruby

    Python, Golang あたりは勉強中)

- 好きなAWSサービス

    S3 (Lambda等のServerlessやりたい気持ち)

早速ですが

こんなのを作りました

sgdoc

https://github.com/yusabana/sgdoc

セキュリティグループの設定をマークダウンとして出力するドキュメント自動化ツール

※現状はプロトタイプレベルのサンプル実装

実行方法

shared credentialsや環境変数でアクセストークン・シークレットを設定しておく

- $ gem install sgdoc
- $ sgdoc > security_groups.md

security_groups.md

Inbound

Protocol	Port	Source	%Description
tcp	3306	10.10.0.0/16	
tcp	3306	10.20.0.0/16	

Outbound

Protocol	Port	Destination	%Description
all	all	0.0.0.0/0	
...略

マークダウンツールで表示(Backlog)

構成管理ツールYambdaで出力したドキュメントっぽい

rds-launch-wizard

Group ID	Description	Tags
sg-[redacted]	Created from the RDS Management Console	

Inbound

Protocol	Port	Source	%Description
tcp	3306	10.10.0.0/16	
tcp	3306	10.20.0.0/16	

Outbound

Protocol	Port	Destination	%Description
all	all	0.0.0.0/0	

Instances references

Instance Name	Instance ID	Security Groups
myTestVPC_1	i-[redacted]	maintenance, TestELB-quick-create-1, default
myTESTVPC_NAT_instance_sample	i-[redacted]8	maintenance

なぜ作ったか(本日話すこと)

- 構成管理ツールのYambdaとは
- 運用フェーズの現状と課題
- マネジメントコンソールつらい問題
- AWSドキュメント化ツールの展望

構成管理ツールのYambdaとは

- どんなもの
  - 設計・構築支援するサーバーワークス社内ツール
  - AWS環境の標準化と構築のスピードアップ
- 自動生成
  - 設定パラメータの **ドキュメント(マークダウン)** を自動生成
  - 構築自動化のための **CloudFormationテンプレート** を自動生成

Yambdaは
おもに **初期構築** に特化した
標準化/自動化の構成管理

初期構築は品質を維持して大幅に効率化できている

運用フェーズの現状と課題

- 運用開始後に追加構築などでYambdaが余り活用ができていない
- マネジメントコンソールで設定変更することが結構ある

    セキュリティグループ1つ追加する...

    インスタンスタイプの変更...

- 設定パラメータのドキュメント(マークダウン)を手で加筆修正している

    引き継ぎ案件だとそもそもドキュメント修正忘れてしまったり...

rds-launch-wizard

Group ID	Description	Tags
sg-[redacted]e	Created from the RDS Management Console	

Inbound

Protocol	Port	Source	%Description
tcp	3306	10.0.0.0/16	
tcp	3306	10.20.0.0/16	

Outbound

Protocol	Port	Destination	Description
all	all	0.0.0.0/0	

Instances references

Instance Name	Instance ID	Security Groups
myTestVPC_1	i-[redacted]	maintenance, TestELB-quick-create-1, default
myTESTVPC_NAT_instance_sample	i-[redacted]8	maintenance

"

設定パラメータの
ドキュメント(マークダウン)を
手で加筆修正している

設定パラメータのドキュメント

- お客さんと認識合わせのために必要最低限のAWS設定値情報
- 運用する上で変更がありそうな設定情報
- 細かい設定値すべては網羅しなくてもよいので、確認しやすいよう一覧性のある表示

rds-launch-wizard

Group ID	Description	Tags
sg[redacted]e	Created from the RDS Management Console	

Inbound

Protocol	Port	Source	%Description
tcp	3306	10.10.0.0/16	
tcp	3306	10.20.0.0/16	

それなりの情報をいい感じに

Outbound

ブラウザの文字列検索もできる

Protocol	Port	Destination	%Description
all	all	0.0.0.0/0	

Instances references

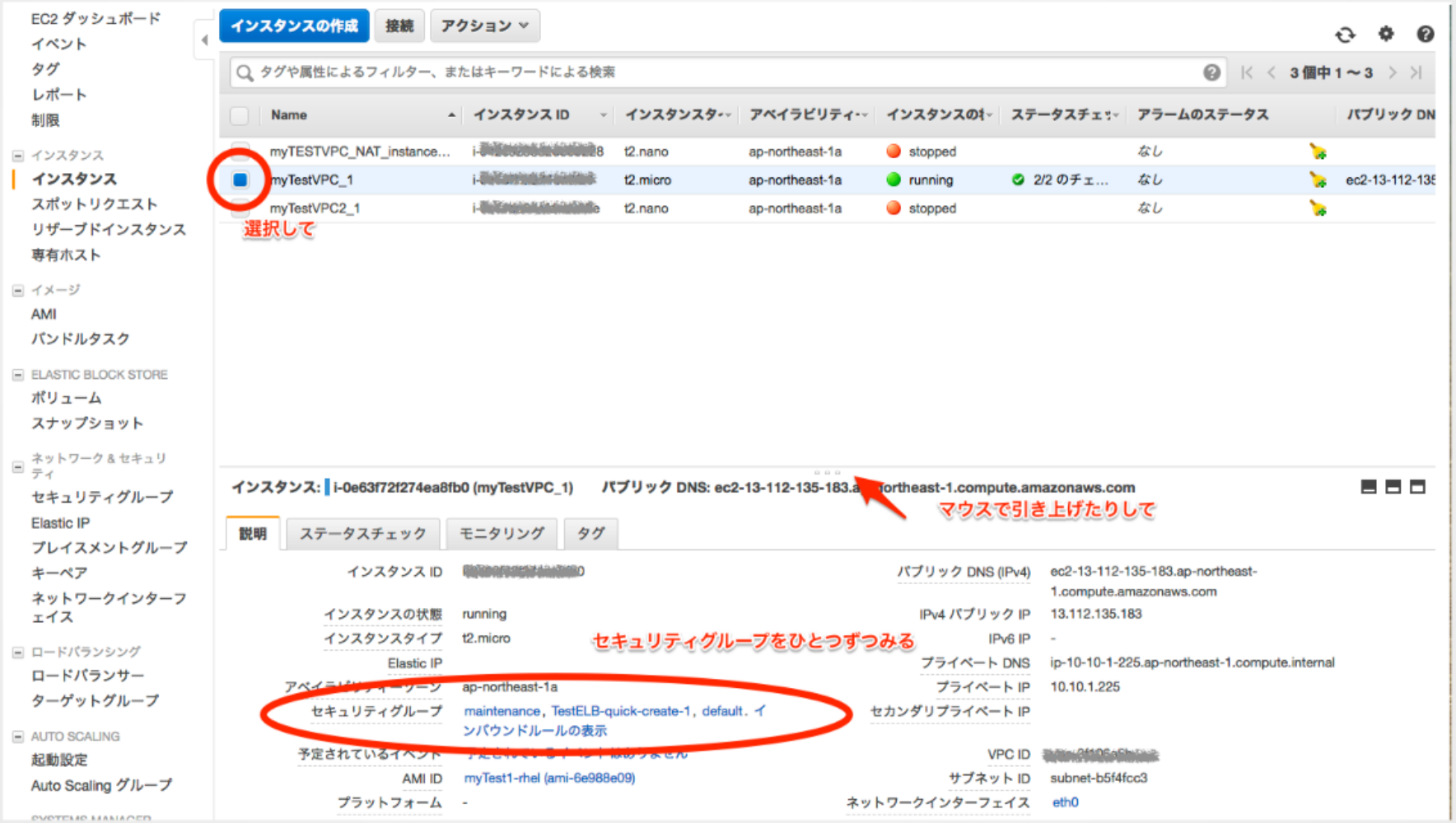
Instance Name	Instance ID	Security Groups
myTestVPC_1	i-[redacted]	maintenance, TestELB-quick-create-1, default
myTESTVPC_NAT_instance_sample	i-[redacted]	maintenance

"マネジメントコンソールでいいんじゃね??"

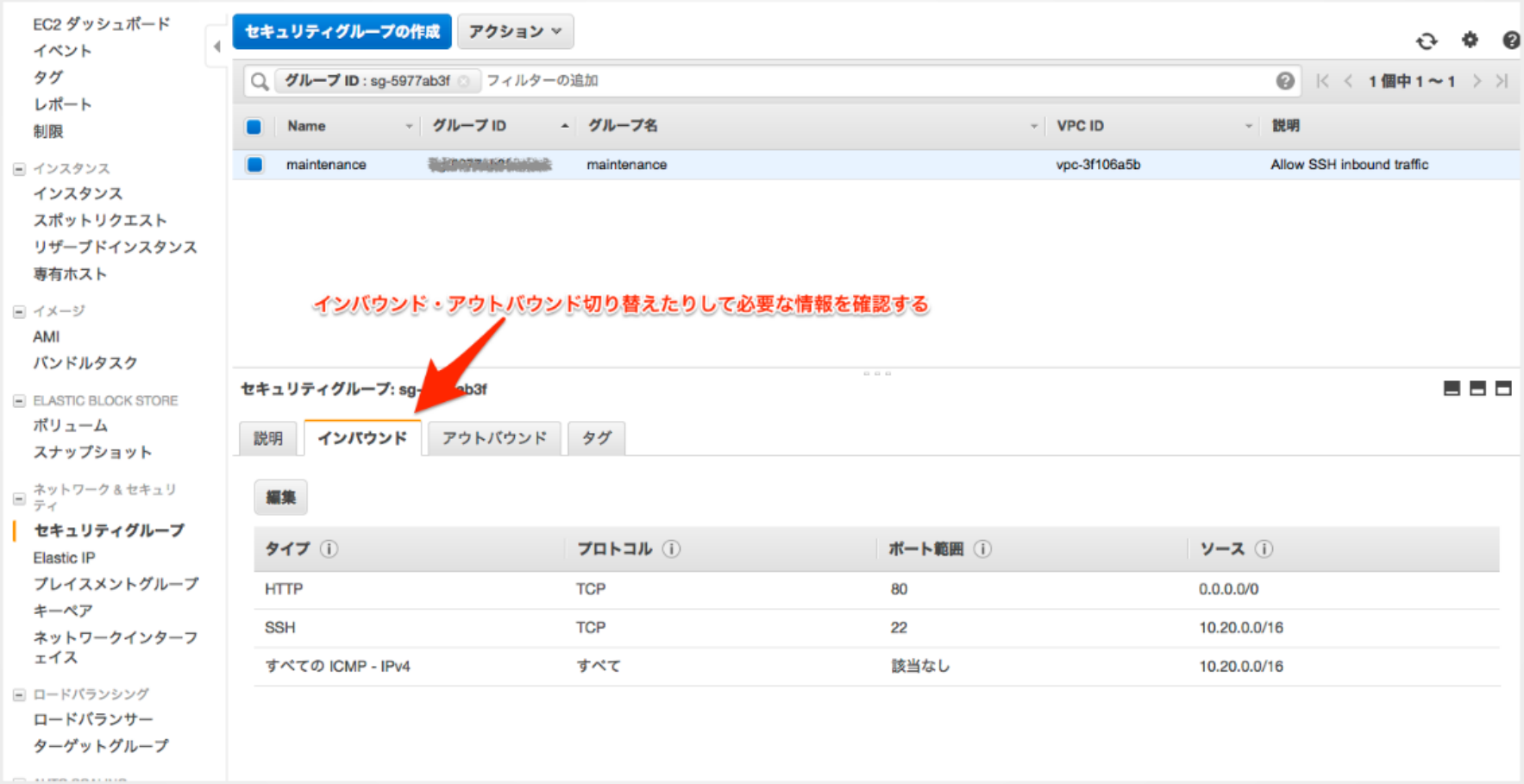
そうなんだけど...

マネジメントコンソールつらい問題

EC2から関連しているセキュリティグループを確認

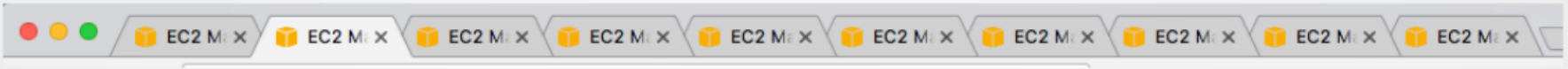


セキュリティグループの詳細



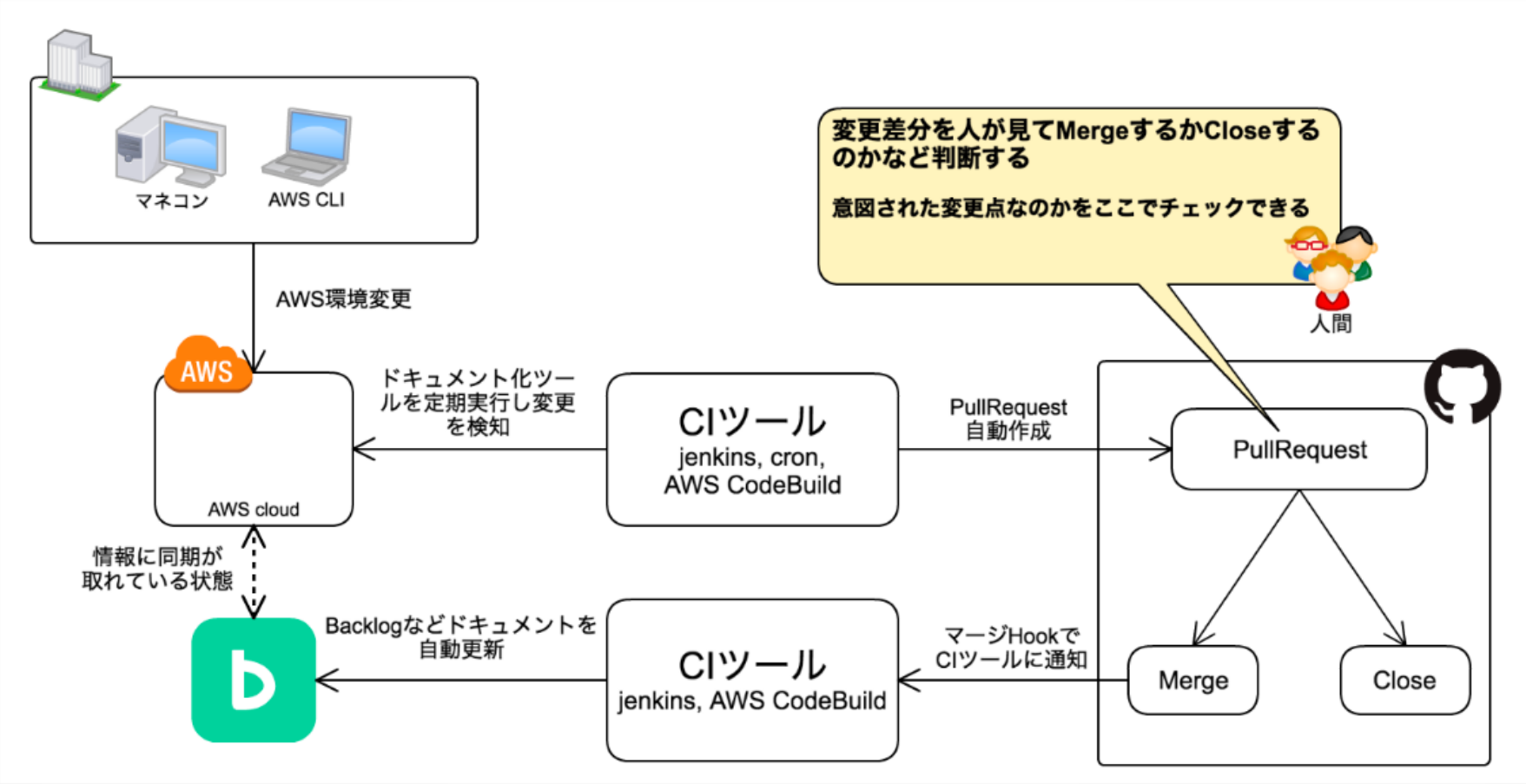
最終的にこうなってしまう... 👼

増えていくタブ... 結局わからなくなってしまう



AWSドキュメント化ツールの展望

こんなこともできるかも



今後やっていきたいこと

- SecurityGroupだけでなく色々なAWSサービスに対応
    - 各種AWSの情報をそれなりにいい感じに一覧できる
- sgdocは捨てるかも、、新たなツールと名前でOSSとしてやっていけたらと思う
- CloudAutomatorやポータルとかに組み込めたりもするかも

ありがとうございました。

一緒にやっていく人募集中